

◆音楽Ⅱシラバスの例

教 科	芸術（音楽Ⅱ）	単位数	2単位	学科・学年・組	普通科2年1組～5組
使用教科書	高校生の音楽2（教育芸術社）				
副教材等	The Basics of Music 2訂版（教育芸術社）、ワークシート、学習プリント				

1 学習の到達目標

- 幅広い音楽活動をするうえで必要となる基礎的な音楽の知識及び技能をより高めるだけでなく、音楽表現を個性豊かに創意工夫する過程を大切に、表現意図の質を一層高め、文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を踏まえて、音楽について考える力を身に付けることを目標とします。
- 日本や諸外国の音楽に触れることで、さまざまな価値観をもつ音楽に対して、積極的に関わり、音楽のよさや美しさを感じ取り、音楽の多様性について理解を深めることを目標とします。
- 音や音楽の美しさを感じ取る豊かな感性を育み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、さまざまな音楽文化に親しむことを目標とします。

2 授業の進め方

- 基礎的な音楽の知識及び技能を高めるために、歌唱技能、楽器の演奏技能の指導の他に、読譜やリズム読みなどの内容もあわせて指導します。
- 歌唱や器楽の学習では、正しい音高で歌ったり、間違えず演奏したりすることも重要ですが、それだけにとどまらず、楽譜に書かれているさまざまな記号の意味や、曲に込められた作詞者・作曲者の思いを理解して、曲にふさわしい音楽表現を創意工夫し、明確な表現意図をもてるようにしましょう。そのためにグループ活動などを通して、曲にふさわしい表現のあり方を考えていきます。
- 創作の学習では、自分のイメージを膨らませて音楽作品をつくります。完成したら、自分で演奏します。作品について説明（プレゼンテーション）をしたり意見交換をしたりします。
- 鑑賞の学習では、西洋音楽、日本の伝統音楽や各地の民俗芸能、世界のさまざまな音楽、ポピュラー音楽などを扱います。
- 必要に応じて、西洋音楽史や日本音楽史について説明します。音楽の歴史を知るとは、音楽表現のあり方や鑑賞作品の理解を深めるのに役立ちます。
- 表現や鑑賞の理解を支えるために、楽典の指導を随時行います。

3 学習上の留意点

「表現」では、日本語や外国語による歌唱、他の声部と協調して美しいハーモニーをつくり出す合唱、音色やリズムのおもしろさを体験する器楽合奏、そして創作といった活動を中心に取り組みます。歌唱では、日本語と外国語の言語の特性を理解して基礎的な発声の技術を身に付け、表現力を伸ばしていきます。合唱や合奏では、他者と協調して演奏を楽しみましょう。楽典は、主に和音進行について扱います。和音進行について学ぶことで、音楽の構造をより正しく理解しやすくなり、鑑賞や創作に応用することができます。

「鑑賞」では、さまざまな時代、地域、ジャンルの音楽を聴きます。音楽の魅力を味わうだけでなく、その文化的・歴史的背景の理解を深めてください。多様な音楽のあり方について理解を深めることで、「音楽って何だろう？」という根源的な問いについて考えていきましょう

4 年間学習計画（学校やクラスの実態に応じて題材や教材を選択するとよい。）

月	題材名	教材名	学習活動	評価方法
4	リズムや音高に注意して、楽譜を読もう	楽譜を読もう	<ul style="list-style-type: none"> リズムを手拍子で打ったり、リズム読みをしたりする 楽譜に書かれている速度を表す用語や強弱・奏法を表す記号を知る 「ドレミ…」やさまざまな発音で音高を付けて歌う 	観察・聴取 ワークシート
	日本語の歌曲を歌おう	からたちの花 かっぱ	<ul style="list-style-type: none"> 「ドレミ…」やさまざまな発音で音高を付けて歌う 詩を朗読して言葉の抑揚やリズムを感じ取り、旋律との関わりを理解する 繰り返される言葉に注目し、詩の内容や曲の雰囲気からどのように歌いたいか考え、表現を工夫する 	観察・聴取 ワークシート
5	ギターで名曲を弾こう	Happy Birthday to You Hedwig's Theme Andantino ギターで名曲を弾こう Stand by Me ギター伴奏をアレンジして雰囲気の違いを楽しもう	<ul style="list-style-type: none"> ギターの正しいフォームを身に付ける タブ譜やコード・ネームについて理解を深める ギターで名曲を演奏する ギター伴奏の方法を学び、《Stand by Me》にギター伴奏を付けてアンサンブルをする 	観察・聴取 ワークシート
6	日本各地の民俗芸能を知ろう	日本各地の民俗芸能 日本の音階 民謡のリズム様式 自分の住んでいる地域の民俗芸能	<ul style="list-style-type: none"> 教科書P.102、103に掲載されている民俗芸能からいくつか選び、調べる 自分の住んでいる地域の民俗芸能についても同様に調べる 民俗芸能を、日本の音階と民謡のリズム様式の視点から分類する 	観察・聴取 ワークシート 発表
	文化的・歴史的背景を理解して、世界のさまざまな音楽を聴こう	世界のさまざまな音楽 音楽って何だろう？人間と音楽の多様な関わり	<ul style="list-style-type: none"> 映像や音源で世界のさまざまな音楽を鑑賞する 聴いた音楽のそれぞれに固有の特徴を考えて話し合う それぞれの音楽の文化的・歴史的背景に興味・関心をもって調べる 	観察・聴取 ワークシート 発表
7	イタリア語で表情を付けて歌おう	イタリア語で歌おう Nel cor più non mi sento Sebben, crudele Piacer d'amor	<ul style="list-style-type: none"> イタリア語の発音を学ぶ 歌詞の内容を理解して、ふさわしい表現を工夫する イタリア語で表情を付けた歌い方を工夫する 	観察・聴取 ワークシート 歌唱試験
9	二部合唱や四部合唱で美しい響きをつくらう	椰子の実 いざ起て戦人よ	<ul style="list-style-type: none"> リズム読みをしたり、「ドレミ…」やさまざまな母音で各パートを歌ったりする 全てのパートの譜読みと音取りをする 各パートのバランスに注意して、ハーモニーを美しく響かせる 	観察・聴取

	音色やエフェクトを工夫して、ゲーム・ミュージックを合奏しよう	とげとげタルめいろ	・各パートのイメージや雰囲気合った音色やエフェクトをキーボードで選ぶ ・各パートの役割を考える	観察・聴取 作品発表
10	フランス語で表情を付けて歌おう	フランス語で歌おう Les feuilles mortes Lydia	・フランス語の発音を学ぶ ・歌詞の内容を理解して、ふさわしい表現を工夫する ・フランス語で表情を付けた歌い方を工夫する	観察・聴取 ワークシート
	サウンド・シグナルをつくろう	サウンド・シグナルをつくろう 音楽って何だろう？音階	・依頼内容にふさわしい音楽の特徴を考え、表現を試行錯誤する ・まとまりのあるメロディーをつくる ・西洋と日本の音階について知る	観察・聴取 ワークシート 創作作品 発表
11 ・ 12	平家に親しもう	日本音楽史（古代～近世） 平家に親しもう	・古代から近世までの日本音楽史を学び、さまざまな日本音楽を知る ・琵琶や平家についての理解を深める ・《祇園精舎》と《生食》を鑑賞し、語り方をまねて実際に語る	観察・聴取 ワークシート
	ベートーヴェンのピアノ・ソナタ第14番《月光》を鑑賞しよう	ベートーヴェンのピアノ・ソナタ第14番《月光》を鑑賞しよう 楽典（和音）	・第1楽章の主旋律、低音、分散和音の各パートの特徴を感じ取る ・第1楽章を各パートに分かれて連弾する ・第2楽章の主題がどのように変奏されているか聴き取る ・和音進行についての理解を深める ・各楽章の低音の動きを確認し、その和音進行を調べる	観察・聴取 ワークシート
1	篠笛を吹こう	篠笛 《かごめ かごめ》 《秋の宵》	・《かごめ かごめ》を吹く練習をしながら、篠笛の正しい構え方や、指孔のふさぎ方、運指、唇の当て方、息の当て方を学ぶ ・篠笛と打楽器で合奏を楽しむ	観察・聴取 器楽試験
	曲の雰囲気を感じて、英語で合唱をしよう	California Dreamin’ コード表	・主旋律を英語でリズム読みしたり、歌ったりする ・各パートを練習して、それぞれの動きを理解する ・各パートの役割とバランスに注意して、ハーモニーを美しく響かせる ・コード・ネームを理解し、ギターやキーボードで簡単な伴奏を付けて演奏する	観察・聴取

2	ドイツ語で表情を付けて歌おう	ドイツ語で歌おう Der Abendstern Frühlingsbotschaft Ich liebe dich	・ドイツ語の発音を学ぶ ・歌詞の内容を理解して、ふさわしい表現を工夫する ・ドイツ語で表情を付けた歌い方を工夫する	観察・聴取 ワークシート
	《白鳥の湖》と《春の祭典》を鑑賞し、バレエ音楽の魅力味わおう	《白鳥の湖》と《春の祭典》を鑑賞し、バレエ音楽の魅力味わおう	・2つのバレエの西洋音楽史上の位置付けと文化的・歴史的背景を理解する ・ロマン派と現代の音楽の特徴について、和音、旋律、リズムの視点から理解を深める ・衣装や振り付けにも注目しながら、2つのバレエを鑑賞する	観察・聴取 ワークシート
2 ・ 3	循環コードを使って音楽をつくろう	循環コードを使って音楽をつくろう	・循環コードによって生まれる魅力を学ぶ ・循環コードの進行をもとに、順次進行や跳躍進行などを工夫してメロディーをつくる ・依頼内容にふさわしい、雰囲気に合ったコード進行、音色、伴奏型などを選び、工夫して音楽をつくる	観察・聴取 ワークシート 創作作品 発表
	ポピュラー音楽を知ろう	ポピュラー音楽の流れ 著作権	・ポピュラー音楽の流れとその背景にある技術の発展について学ぶ ・著作権について学ぶ	観察・聴取 ワークシート

5 課題・提出物など

<p>表現領域では、さまざまな実技課題が出されます。個々のレベルに合わせて習熟できるよう時間を設定していますので、目標の達成に向けて進んで課題に取り組みましょう。</p> <p>鑑賞領域では、学習内容が定期考査で出題されます。教科書や学習プリントを活用してください。</p>

6 評価規準・評価方法

評価は下の3つの観点から行います。

A 表現（歌唱、器楽、創作）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・[事項イの(ア)、(イ)、(ウ)]について理解している（※創作分野の場合は、事項イの文末を「～理解を深めている」に変更する）。【知識】</p> <p>・創意工夫を生かした歌唱表現（※器楽分野の場合は「器楽表現」、創作分野の場合は「創作表現」）をするために必要な、[事項ウの(ア)、(イ)、(ウ)]を身に付けている。【技能】</p>	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱（※器楽分野の場合は「器楽」、創作分野の場合は「創作」）表現を創意工夫している。</p>	<p>主体的・協働的に歌唱（※器楽分野の場合は「器楽」、創作分野の場合は「創作」）の学習活動に取り組もうとしている。</p>

B 鑑賞

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・[事項イの (ア)、(イ)、(ウ)] について理解を深めている。【知識】</p> <p>(「技能」に関する評価規準は設定しない。)</p>	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考えるとともに、[事項アの (ア)、(イ)、(ウ)] について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。</p>	<p>主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

評価は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から行う評価、歌唱や器楽における試験、課題や学習プリントなどの記入状況、創作作品、必要に応じて実施する定期考査などをもとに総合的に判断して決定します。